広報かじき

No.290
昭和54年4月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／㈲吉屋印刷

（家族づれでにぎわった須崎海岸）

潮干狩り

須崎海岸のアサリ貝掘りは4月1日解禁となりました。

毎週日曜日、祝日に行われます。

料金は…大人 250円、小人 150円です。潮時をよく見て行きましょう！

●人口22,067(＋20) 男10,527(＋10) 女11,540(＋10) 世帯 7,123(＋1) 54.3.1現在(　)前月比

統合中学校建設予算が最大

昭和54年 第一回定例町議会

東町長 施政方針

昭和五十四年、第一回定例町議会は、三月十二日から三十日までの会期で開催され、昨年十二月再選された東町長は、新年度にあたり、町政に対する所信の一端と、昭和五十四年度一般会計予算をはじめ、国保、水道事業、簡易水道の各会計予算の大綱を述べ「町総合振興計画の基本構想の指標とする文化的居住都市実現のため、最大限の努力を傾けていきたい」と所信表明を行った。施政方針の要旨は次のとおりです。

本日、ここに昭和五十四年第一回定例町議会の開会にあたりまして町政に対する所信の一端と、昭和五十四年度一般会計予算をはじめとする国保、水道事業、簡易水道の各会計予算につきましての大綱をご説明申し上げ議会のみなさんの深いご理解と町民各位のご協力をお願い申し上げたいと存ずる次第でございます。

わたくしは、誠実、清潔、公平を信条といたしまして住みよい町づくりと住民福祉の向上に最善の努力をすることを誓いまして過去四ケ年間行政を担当して参りました。昨年十二月に一期目の任期を終え、決意を新にいたしまして町政を担当いたしたいと存じまして立候補いたしましたところ無投票当選の栄を得まして引き続き町政を担当することとなったわけであります。つきましては、わたくしにとりこのうえない感激であり、課せられた責任の重大さに身も心もひきしまるものを覚えるものでありまして、加治木町発展のために諸施策の遂行にこん身の努力を重ねて町民の信頼と期待にこたえる決意であります。

本町は、新年早々人口二万二、〇〇〇人の大台を突破し、現在二万二、〇六七人で県下屈指の雄町として、また郡内の政治、経済文化の中心都市として発展の一途をたどりつつありますことはまことにご同慶にたえません。これひとえに町民各位のたゆまない努力と町政に対するご理解、ご協力と同時に議会議員のみなさまの積極的なご指導、ご援助、ごべんたつの賜物であり、まずもって感謝と敬意を表する次第であります。

本年度は、加治木町総合振興計画の第一次実施計画の第二年目であります。基本構想の指標とする文化的居住都市実現のため、住宅道路、都市排水、上下水道等の住民生活関連施設の整備、学校、又は農林商工業の振興や広域行政の推進など積極的に取り組み、若者が定着し易い定住社会そして町民が等しく豊かで生きがいのある郷土の建設をめざして、心機一転新なる情熱と勇気をふりおこし、最大限の努力を傾けて参る所存であります。

さて最近におけるわが国の経済はなおきびしいものがあり、石油危機により大きな打撃をうけて、生産、雇用、企業、収益等に関する経済指標の推移は今なおわが国が直面している諸問題の要因となっております。輸出入収支の黒字大幅な円高等の要因も加わり低成長からの脱出は困難な状況にあることは、みなさまご承知のとおりであります。

このような経済情勢の下において、政府は景気の着実な回復を図り、雇用、物価等の国民生活の安定を第一義として、昭和五十四年度において実質六、三ハ七イ程度の成長率を目指し、民間経済の自立回復を換起するため予算、財政投融資計画を通じてあらゆる施策が講じられております。

また昭和五十四年度の国の一般会計予算の大綱を見てみますと、現下のきびしい経済情勢に対処するため公共投資等の規模を拡大するなど、五十三年度に引き続き臨時異例の財政運営を行うこととして編成されております。すなわち経常的経費の規模を前年度予算の増加率を下回る一〇・九ハ七イの増加に抑制した反面、投資的経費の規模は前年度予算の増加率を下回るものの一八・五ハ七イの増加であります。

以上の結果、一般会計予算の規模は前年度当初予算に対して一二・五ハ七イ増の三八兆六、〇〇一億円となっており、特に歳入における公債金につきましては租税等の落ち込みによりまして、昨年に引き続き多額の発行を行わざるを得ない状況にあり、公債依存度は三九・五ハ七イ、一五兆二、七〇〇億円であります。

なお、予算の背景をなす昭和五十四年度の国民総生産は二三二兆円前後となり、各自成長率は九、五ハ七イ前後、実質成長率は六・三ハ七イ前後と見込まれております。

次に地方財政計画について触れてみたいと思います。

昭和五十四年度の地方財政対策における地方財源の不足額は、五十三年度より六、〇〇〇億円増の四兆一、〇〇〇億円と見込まれ、この不足額を補てんするため一兆六、四〇〇億円を建設地方債の増発により残りの二兆四、六〇〇億

次頁へつづく

前頁より

円を交付税特別会計からの借り入れ等によって交付税の増額分として措置することとされております。

なお本年度の交付税総額は七兆六、八九五億円で前年度より九、二パーセントの増となっております。

また、地方債計画は総額で七兆四、〇一〇億円で前年度より一九・〇パーセントの増となっており、政府資金の増額や地方単独事業の拡充等の措置がなされております。このような経済情勢の中にあって、国・地方を問わず財源の不足は昨年にも増して困難な局面を迎えています。

昭和五十四年度予算編成方針。

それでは、昭和54年度の予算編成の大綱についてご説明申し上げます。

わが国をとりまく内外の経済情勢は極めてきびしいものがあります。国が示した予算編成の基本的な考え方は、物価の安定に配慮しつつ内需中心の景気の回復をはかり、雇用と国民生活の安定を確保するとともに対外的均衡の回復に努めることにあります。

わが加治木町におきましても、このような観点から昭和五十四年度の予算編成にあたりましては国、県と同一基調により景気の回復等に資するため、住民生活の基盤となる道路、学校などの社会資本の整備を中心として財源の許す限り投資的経費の拡大を図り、一方、一般行政経費は極力抑制し、その節減合理化に努め、町税の適正な賦課、徴収の確保、使用料、手数料等の適正化等を推進し、財源の確保に努めるとともに財源の重点的かつ効率的な配分を行うこととといたしました。

特に今年度は加治木町振興計画の第一次実施計画の第二年次でもあり、策定された諸事業の推進に配慮を加えながら次の諸点に留意いたしまして節度ある財政運営に努力することが大事であると考えたわけであります。

(1)一般行政経費の抑制に努める。

(2)負担金、補助金等は特別なものを除き現行計上額にとどめること。

(3)投資的な経費については、公共事の強化促進を意としながら後年度の財政負担等を配慮して予算計上する。

(4)町税の課税客体のは握と徴収の確保、その他使用料、手数料の適正化を推進し財政収入の確保に努めること。

以上のとおり、健全財政をその基調として財源の重点的配分と経費の効率化に意を用いながら、投資的経費の充実にその重点を置き予算の編成をすることといたしたわけであります。

昭和五十四年度施政の重点施策は次のとおりであります。

加治木町振興計画の着実なる促進を図ることを第一義といたしまして、

(1)生活環境の整備促進

(2)商工、農林業の振興

(3)教育の振興と教育施設の整備促進

(4)社会福祉、保健衛生の充実

であります。

次に、施策の大綱について申し上げます。

一、生活環境の整備促進について

わが加治木町は郡内の中心都市として、住宅地の造成道路網の整備、進展によりまして鹿児島市のベッドタウンとして人口増加と都市化が進んでおります。

昭和六十年代の人口三万二、〇〇〇人を目標に、生活環境の問題は最も重要なことであります。今年は特に次の諸点について真剣に取り組んでまいりたいと考えて、その一つは

(1)上水道事業について

本町の上水道事業は、給水開始以来人口増加と相まって年毎に水の需要量増大し、第三次拡張事業まで実施し、現在給水戸数六、七一〇戸、一日平均給水量五、三二三立方メートルとなっております。

そこで、将来の区域内人口の増加に対処するため第四次拡張事業を実施することといたしました。

計画の概要は、計画目標の年次を昭和六十五年とし、施設能力を計画給水人口二万七、〇〇〇人、一日最大給水量一万三、五〇〇立方メートルとして網掛川沿いに深井戸五本をさく井し、揚水二、八〇〇立方メートルの配水池を構築する等の計画で、今年度から三ケ年で総事業費六億八、〇〇〇万円で実施するものであります。

町民各位のご理解、ご協力をお願いする次第であります。

(2)道路の整備について

産業経済、生活文化興隆の根幹をなすものは、道路の整備であることは申しあげるまでもありません。

道路の整備は、公共事業の中でも特に住民生活に密接な関係にありますので、今年度も引き続き重点施策として取りあげ街路木田本通線、西別府線、鈴玉橋等の継続事業の実施、長谷線の改良事業の実施、または小山田線の改良事業実施計画に必要な測量委託のほか、町内一円の道路改良、舗装工事等を実施してまいります。

また街路につきましては、街路網の見なおしを専門のコンサルタントに委託してありますので、その結果等を検討いたしまして年度内に計画を策定してまいりたいと存じます。

なお、国道十号バイパスの路線の発表がありましたので関係住民のかたがたのご理解とご協力を得ながらこの実施の促進と同時に、これに関連して起きることが予想されます問題の解決に努力してまいりたいと存じます。

(3)その他の環境整備について

姶良西部衛生処理組合で実施中のし尿、塵芥の処理につきましても、その施設の整備と管理運営に努力してまいりたいと存じます。

本町の危険物捨場も新しい捨場の用地確保を考えております。

都市排水路の整備につきましては、今年度も引き続き臨時河川等整備事業として実施してまいります。

なお、公共下水道の問題につきましては、隣接する国分市、隼人町、姶良町の広域行政事業として推進していく方向を打ち出しておりますので、これら関係市町とともにその推進に努力してまいりたいと存じます。

次に、重点施策の第二、商工、農林漁業の振興について申しあげます。

(1)商工業の振興について

本町商工業の振興は町民所得の向上と町内購売力の増大がその根源になると存じております。

特に商工会の育成強化が重要であると考えまして、前年度に引き続き育成補助等にも配慮をいたしました。

今年度は商店街の診断事業を実施いたしまして、本町独自の商店街の動向をは握し、導入事業等の策定に資してまいります。

また、五十三年度に実施されました伊佐、姶良地域小規模事業特別推進事業の調査報告書も検討活用してまいりたいと存じます。更にまた姶良地区の中心都市としての市街地形成を今後の指標として商工会とともに努力してまいる所存であります。

(2)農林漁業の振興について

活力のある安定的生活、活力のある地域社会を築くためには、農林業を中心とする生産活動が活発でなければならないと考えられます。

次頁へつづく

前頁より

最近におけるわが国の農業は、どれを取りあげてもまことにきびしいものがあります。なかでも米づくりは国においてもその生産量所得は依然として農業の根幹をなすものでありますが、米が余っているということで、転作の推進をせざるを得ない情勢にありますことはご承知のとおりであります。兼業化の進む今日、町の農政は非常にむづかしい状況にありますが、農協その他の関係団体と密接な連係をとりながら一層の努力を重ねてまいりたいと存じます。

これまで昭和四十六年度に策定いたしました加治木町農業振興地域整備計画により整備をしてまいりましたが、社会経済の変動に伴い、農業をとりまく諸情勢も一段ときびしくなってまいりましたので、昭和五十二年度に策定いたしました加治木町総合振興計画を基として農業振興地域の見直しを行い。町の農業振興地域整備計画を樹立いたしましたので、今後はこの計画に沿って農業生産経営の安定向上を図ってまいる所存であります。

農業生産の基礎となる整備計画につきましては、農用地の区域別に計画をたてて整備してまいりたいと考えます。

今年度の主なる事業は、十三塚原畑総事業の楠原台地のほ場整備及び基幹農道整備事業の推進をはじめとし、県単土地改良事業といたしまして木田大園地区のかんがい排水事業、小山田迫地区の農道整備事業の実施や、昭和五十一年度から実施して今年度で終了する川床地区の農道新設改良事業等を実施し、更には県営大山西別府農免道路建設進度の促進など一層努力してまいります。

また、木田八反田地区を農業生産基盤総合整備事業で整備する計画で、その調査設計をいたしたいと存じますが、この事業はほ場、農道、排水整備ほか集落の環境整備等、昭和五十五年度から六十年度を目途に施行する計画であります。この事業の実施につきましては、今後国、県と充分に合議をすすめるとともに、関係地域住民との話し合いも残されていますので慎重を期して対処したいと考えます。

また、地域農政特別対策事業として小山田迫地区のほ場、農道整備事業の実施も計画いたしまして国、県と協議中であります。事業が決定次第予算措置をして実施いたします。

畜産の振興につきましては、農家所得の増加をはかるため昨年度に引き続き肉用牛導入資金補助を実施するとともに、肉豚集団肥育施設設置事業とこれに関連する地力培養対策事業も計画いたしております。事業費の決定後に予算措置をいたしまして実施してまいる所存であります。

また、和牛の改良、増殖にも努め、肉用牛の一、二頭飼いも奨励し、飼料作物の増産によって畜産経営の安定を図ってまいります。

養鶏事業につきましては、鶏卵生産調整が実施されている今日でありますので、養鶏連と連絡を密にして経営の安定を図るための努力をいたしたいと思います。

林業については、第二次林業構造改善事業も五十三年度で終わりましたので、森林整備事業や竹林改良事業等を実施してまいります。今年度は高井田線の舗装工事を計画しておりますが、林業緊急対策事業としまして目下県と協議中であります。高倉線から高岡公園までの林道開設及び関連作業道の開設も考えてまいります。

その他、農村振興運動は昨年度に引き続き実施してまいりますが今年度は新しく農業振興計画の推進実践の組織といたしまして農業生産百人会を設立いたし、また農業者の意欲の向上と、明るくて活気のある農村を創るために農業振興大会の開催も計画いたしておりますので、関係機関団体のご協力を得たいと考えております。

次は重点施策の第三、教育の振興と教育施設の整備促進について申し上げます。

青少年の健全な育成は、一日もゆるがせにできないわれわれに課せられた重大は責務であると考えます。

家庭、学校、社会、生涯教育として人生のあらゆる領域、場を通じて社会連帯感のもとに教育文化活動の機会と場を拡充するために一層の努力を傾けてまいる所存であります。

今年度の重点は、特に統合中学校建設事業であります。このことは、わが加治木町の多年の懸案であり、町民の期待も大きいと考えられますので、昭和五十六年の開校にむけて校舎をはじめとする諸施設設備や関連通学路の改修等に精力的に取り組んでまいります。

また、前年度から継続事業の永原小学校屋内運動場建設事業の完成を図りますとともに、柁城小学校の普通教室校舎の新増築事業も実施することといたしました。

なお、今後の課題として、下場地区の開発との関連で、近い将来において新設の小学校を考えてまいらなければならないと考えているところでございまして、適切な措置を考えてまいる所存であります。

社会教育の面では、町民各層のかたがたが各種の学級講座、社会体育を通じて研さん活動を重ねておられますことは、まことに喜ばしいことで、市民の躍動する文化的居住都市づくりのためにも社会教育活動のもつ役割は極めて重大であると考えられますので、自主性に富んだ社会教育活動への参加を促進して参ります。

重点施策の第四、社会福祉、保健衛生の充実について申し上げます。

町民が等しく豊かで生きがいのある生活を営むことが人間の願いであり、行政の最終目標でもあると信じます。わたくしは今年度も引き続き老人や心身障害者、母子家庭など社会的、経済的に弱い立場にあるかたがたに対しましては自立と生きがいの助長に努めますとともに、保健医療、社会福祉の充実につきましても県や社会福祉協議会等とともに真剣にとり組んでまいります。

今年度はこれまでの各種施策を引き続き実施してまいりますが、新しく母子、父子、父母のない家庭の児童の医療費を助成することにいたしまして条例を制定することにいたしました。

また、町民のすべてが健康で明るい生活ができるように各種関係機関、団体のご協力を得ながら疾病の予防対策、環境衛生対策に今後も引き続き努力して、具体的には公衆衛生の徹底、予防医療の充実、医療体制の整備、健康増進対策等の施策を進めてまいります。

国民健康保険事業につきましては、保険税の的確なる徴収と適正な課税に努めるとともに、被保険者の健康管理に努力いたします。

また、簡易水道事業も今年度で完成をいたしますが、その施行については万全を期してまいりたいと存じます。

以上、主なる施策については所信の一端を申し述べましたが、昭和五十四年度の一般関係予算は二十九億八千六百万円で対前年当初比で三十、三%の増であります。その他予算の概要につきましては次頁に記述してありますので、よ

次頁につづく

前頁より

ろしくお願い申し上げます。

特別会計

昭和五十四年度加治木町国民健康保険特別会計歳入歳出予算の大綱について申し上げます。基本的な考え方といたしまして、まず第一に国民健康保険制度の使命とその性格を良く認識することであり第二に保険給付を適正におこなうことであります。第三は国民健康保険税を公平に賦課徴収し、財源確保につとめること。以上の三点を基本として編成することにいたしました。予算の歳入歳出総額はそれぞれ五億七千七百四万七千円であり、対前年当初比で一八パーセントの増であります。

次に五十四年度加治木町水道事業会計予算について説明申しあげます。

今日の加治木町地域環境情勢は急速に変化し、給水人口は昭和五十四年一月末現在で約一万七千七百人に達し、計画給水人口一万六千人を超過しておりますので現在の施設では供給能力の限界にきているというのが本町水道の実態であります。これらの現状をふまえまして今後の給水量の増加を見込み昭和五十四年度の水道事業予算は、約二億円の計上をしこの実現を最重点事項としまして、第四次拡張事業を三ケ年計画で、総事業費六億八千万円を見込んで実施しようとするものであります。

歳入歳出予算の内容説明

昭和五十四年度の一般会計歳入歳出予算の概要について申し上げます。予算総額は二十九億八千六百万円で、対前年当初比では六億九千四百四十万円、三〇・三パーセントの増であります。

歳入歳出について事項別に順を追って説明します。

歳入（万円未満省略）

町税	七億〇、二五〇万円
地方譲与税	三、〇〇〇万円
娯楽施設利用税交付金	一、五〇〇万円
自動車取得税交付金	一、八〇〇万円
地方交付税七億五、四〇〇万円	
交通安全特別対策交付金	四三〇万円
分担金及び負担金	三、〇〇〇万円
使用料及び手数料	六、〇八六万円
国庫支出金	六億二、二四六万円
県支出金	一億〇、四三三万円
財産収入	一、〇四九万円
繰入金	二、七〇〇万円
諸収入	二億二、五二五万円
町債	三億八、一三〇万円

歳出（千円未満省略）

議会費

五千五百八十四万九千円で対前年当初比七・五パーセントの増。その主なものは議員、職員の人件費や物件費等議会活動に必要な経費です。

総務費

三億四千八百十一万六千円で前年比十二・一パーセントの増となり、三役職員をはじめ関係各種委員や、行政連絡員などの人件費、物件費および補助費などがその主なものです。

民生費

五億七千九百二十一万九千円で前年比では八千一百二十八万八千円、十六・三パーセントの増であります。主なものは、人件費をはじめ各委員の出会報償や、各福祉団体の補助金一千六百八十四万八千円。そして心身障害、老人医療費一億一千八百九十九万二千円。今年新しく母子、父子、父母のない家庭の児童の医療費五十万円などで扶助費二億五千一百二十五万四千円。物件費の二億一千六百一万四千円などであります。

衛生費

一億五千六百十七万六千円で二五パーセントの増。関係職員の人件費と各種予防接種に必要な医師の賃金や本年度に完成する簡易水道事業繰出金八百六十万二千円。霧島伝染病棟組合、西部衛生処理組合負担金など六百二十四万四千円。塵芥、し尿処理費七千一百八十九万三千円で補助費等が主なるものです。

労働費

九千六百十三万五千円、前年比で十六パーセントの増。主に失業対策の就労者の賃金、原材料費及びマイクロバス一台の購入費などです。

農林水産業費

一億二千四百十七万三千円で前年比で二百八万二千円の減。農業委員会費一千七百十三万七千円。農地費三千六十二万円の主なものは大園地区かんがい排水事業、迫地区農道整備事業費などです。団体営農道整備費は川床地区農道の事業費などで普通建設費が主なるものです。

商工費

二千五十一万円で八・一パーセントの増。商工会育成補助と商工振興貸付金などが主なものです。

土木費

五億八千九百十一万一千円で前年比では二億一千四百九十万二千円、五七・四パーセントの増。関係職員の人件費及需用費などの経常的経費ほか道路台帳作成委託料二千万円。

主な事業として西別府線特別改良事業費一千八百万円、町道各路線改良工事費三千万円、道路舗装費三千三百万円、長谷線道路新設改良事業費三千六百六十万円、鈴玉橋新設事業費四千二百九十三万円、上木田西橋六百万円、木田本通線道路新設改良事業費九千六百八十万円、高岡公園整備費三千三百万円、塩入排水路、反土横手排水路の整備費一千九百万円、住宅管理費二千七百十四万七千円、公営住宅建設費一億四千七百五十九万円。

消防費

一億一千一百二十七万四千円で五・六パーセントの増。西部消防組合負担金七千八百三十七万円、非常備消防費は三千二百四万二千円で消防団員の報酬や防火水槽工事費、小型動力ポンプ購入費等の計上であります。

教育費

七億六百二十九万六千円で前年比二億九千二百九十七万七千円、七一パーセントの増。主なものは、人件費、普通建設費、物件費、補助金等で柁城小本館校舎新増築事業費二千四百七十二万八千円、永原小屋内運動場新設事業費三千六十一万五千円、統合中学校新設事業費三億三千二百八十六万六千円等が主なものです。

災害復旧費

二千四百四十八万八千円で前年比三四・一パーセントの増。市ノ頭地区用水路、竜門第一地区農道の災害復旧費と猪目田川、大谷川、黒川、木田川の護岸災害復旧費、市野、辺川下、見帰、永原中学校線の道路災害復旧費等の計上。

公債費

一億六千九百六十五万一千円で三・五パーセントの増であります。

三月三十日開かれた昭和五十四年、第一回定例町議会で、空席となっていた本町助役に川崎貞義氏(五七)を選任することに同意しました。

川崎氏は、肝付郡大根占町出身で、昭和二十四年に鹿児島県総務部に入り以来、民生労働部、監査委員事務局水産商工部、川内財務事務所長、消防防災課長、林政課長から農業大学校副校長を歴任。三月三十一日で退職されました。(現住所、諏訪町一九二)

就任のごあいさつ

助役　川崎貞義

このたび町議会のご同意をいただき、四月一日付けをもって加治木町助役に選任されました。

私にとりましてこのうえない光栄であり、身のひきしまる思いがいたします。

当町は、昔から由緒ある街として知られており、また、最近は鹿児島空港の新設、九州縦貫自動車道の完成、さらには鹿児島市のベットタウンとしての宅地開発や生活環境の広域的な整備が急速に進展しつつあります。

このような情勢のなかで助役に就任いたしますことの責務の重大さを痛感いたします。

一日も早く加治木町民になりきり町政の内容について勉強し町長の女房役としてお役に立ちますように頑張りたいと存じます。

皆様方のご指導ごべんたつを切にお願い申しあげます。

行政相談委員に

柳田の新納さん

行政相談委員であった前山新内さんが昨年死亡され、現在まで欠員でありましたが、後任に柳田部落の新納正教さん(六二)が、行政管理庁長官から行政相談委員に四月一日委嘱されました。

行政相談委員は、国が直接行っている業務や補助金を出している業務、例えば恩給、年金、登記、道路、公害、公社、公団、公庫など行政全般に関する苦情、その他困りごと心配ごとなど、住民のよき相談相手となって解決のため努力していただくことになっています。相談は無料で秘密は守られます。

行政相談委員の連絡先は加治木町仮屋町八四番地柳田、電話三―二〇二七、新納正教

異動

四月一日付けで役場の人事異動が次のとおり発令されました。

住民課長（土木耕地課長）市来原盛吾▽税務課長（住民課長）四元義照▽土木耕地課長(企画課長)穂満芳徳▽企画課長（税務課長）迫屋清治▽姶良郡西部衛生処理組合事務局長（税務課長補佐）児玉実憲▽総務課参事（姶良郡西部衛生処理組合事務局長）郡山景二▽税務課課長補佐（福祉課小山田保育所長）犬童博子▽福祉課小山田保育所長（収入役室出納係長）木下幸江▽収入役室出納係長（住民課記録係長）水流清子▽住民課記録係長（福祉課児童係長）榎谷勝▽福祉課児童係長（土木耕地課管理係長）城正昭▽税務課徴収係長住民課年金係長）伊丹正登▽住民課年金係長（税務課徴収係長）上枝照男▽土木耕地課管理係長（議会事務局議事兼庶務係長）宮原藤朗▽議会事務局議事兼庶務係長（経済課農振係）杉田淳平▽水道課管理係長（水道課業務係長）永井利弘▽水道課業務係長（水道課業務係）安藤良光▽福祉課（企画課）坂元和久▽経済課（総務課）木場正夫▽総務課（福祉課）福森徳昭▽都市計画課（税務課）岩沢健一▽税務課（教委体育保健課）川田伸幸▽教委体育保健課（住民課）原口隆嗣▽教委加治木幼稚園（総務課）松吉万里子▽総務課（土木耕地課）田丸孝男▽土木耕地課（総務課）神園順一

新規採用　（　）内は所属課

岩沢正継（税務課）▽高橋昭弘（住民課）▽増田明(土木耕地課)▽岩穴口弘行（水道課）

（　）**内旧課**

婦人の活動分野をひろげましょう！

第３１回婦人週間
４月１０日←→４月１６日

四月十日から一週間、婦人週間です。婦人週間は婦人の地位向上のための特別活動として、昭和二十四年に設けられたもので、今年で三十一回目を迎えました。

今年のテーマは「男女の平等と婦人の社会参加をすすめる」で、運動の重点は、婦人自身の自覚を高め、社会一般の理解を深めることを目的として「婦人の活動分野を広げる」ことにおかれます。

「男は仕事、女は家庭」三人に二人は〝反対〟

総理府の婦人問題担当室が昨年秋まとめた、第二回婦人問題に関する有識調査（昭和五十二年十月調査）の結果によりますと、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人は六四％（女八三％、男四五％）となっています。

同感しない理由としては、「固定化された考えでなく、本人の考え方次第であるべきだから」という人が八三％、「男は自分の身のまわりのこともできなくなり、女性は自分の家庭中心に視野が狭まってしまう」という人が五・二％となっています。

女性も家庭だけにとどまらず広い視野をもち、社会と結びついた活動をすべきだという意見が多いのです。

話題

MBC硬筆コンクールで
錦江小大井君 柁城小田中さん 特別賞

第九回MBC硬筆書写コンクールは、昨年開催されましたが、この成績の発表がこのほどあり、本町錦江小の大井君と柁城小の田中さんが、特別賞に選ばれました。

これは、県下の小学校を対象に行われているもので、大井隆志君（小5）は南日本新聞社賞に、田中ルミさん（小3）は奨励賞に、それぞれ優秀な作品として、南日本放送ダイヤ硬筆書写振興会から賞状とメタルが贈られました。

おめでとうございます。

今後さらに努力を！

特別賞の大井君（右）と田中さん

四月五日よい子たちの入園の日

かずみ保育園が完成
町内保育所は六つに

社会福祉法人幸友会（池田龍男理事長）のかずみ保育園（池田枝美子園長、職員数八人）が、反土横手にこのほど完成。ことしの四月からオープンしました。

収容人員は六十人で、工業高校の北東に位置し、敷地は一、〇九一平方メートルに建物は三八七・一八平方メートルの鉄筋コンクリートの平屋建て、保育室四つ、リズム室一つがあり、近代的なモダンな建物が完成しました。

これで町内の保育所は六つになり、毎年定数を上回るため、このかずみ保育園の開設は、保育にかける家庭に大変よろこばれています。

二十チーム熱戦
町内卓球大会

昭和53年度、冬季町内卓球大会が、三月二十一日午前九時から加治木中学校体育館で、中学生から一般まで約一〇〇人の選手が参加して開催されました。

この大会は、卓球への関心を高めると共に、体力の向上と、お互いの親睦を深める目的で行われるもので、当日は、中学生の個人戦に四十三人、一般（高校・女子を含む）に二十組六十人が出場、日頃の腕を発揮し、熱戦が展開されました。

成績は次のとおりです。

団体戦

①鹿信金②合庁A③消防署・合庁B

個人戦

中学生男子＝①柊平健②美坂秀一③西薗一秋・福永政幸

女子一年＝①佐藤千幸②下小牧富久美③山下美千代・今村優子

女子二年＝①荻②井之口③山中・境田

環境整備はまず自分たち役員からと
河川清掃!!

町の環境整備はまず自分達役員からと、町衛生協会理事（村下久信会長十四人）では、毎月一回環境整備のよびかけ（パトロール）を行ないながら町内の河川などを清掃しています。

三月二十二日には加治木港付近を、腕に衛生協会の腕章をつけ、町民に啓もうしながらあき缶やゴミ等を拾い清掃しました。

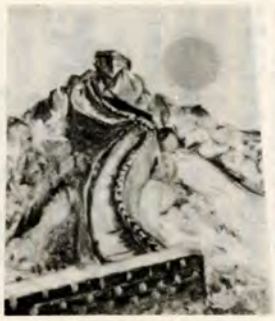
アキ缶など清掃に励む理事さん

これから夏にかけて、川や海は子ども達や若者の遊び場になります。町民一人一人がゴミの不法投棄をやめ、自然保護に心がけましょう！

札立の宝蔵さん
自伝「夕陽の道」を刊行
母校や図書館へ贈る

反土札立の宝蔵保さん（六七）は、自叙伝「夕陽の道」と題する随筆をこのほど発刊し、母校である加治木中学校や町立図書館などに寄贈しました。

宝蔵さんは、戦前は満州中央銀行に勤務、戦後は県内各地の小、中学校の校長先生で、この「夕陽の道」は、戦前から戦後、そして現在まで書きつづった日記や随想をまとめたものでB6判三百六十五頁で、いろいろな体験を経た当時の人々の姿が生き生きと書きつづられ、副題に「ある四等校長のたわごと」：とあり、肩のこらないやわらかな読み物です。



発刊された「夕陽の道」

婦人会だより・町婦連

新年度の活動方針きまる

町婦連総会を開催

三月二十五日、町婦人会総会を福祉センターで開催しました。

総会では、教育長先生はじめ、先輩の方々、地区公民館長さん方多数のご来席をいただき、私たちを激励してくださいました。ありがとうございました。

その中で、五十三年度のご報告と五十四年度のスタートをきる事ができました。今後町民の皆さまのご支援をお願いいたします。

新年度の活動方針と努力点を次のように決定いたしました。

標語募集で入賞したみなさん

活動方針

わたしたちはお互いに信頼しあい、自分自身を高めるための生涯教育、ボランティア活動の場としての婦人会活動を活発にし生活をかえ人間性を高め、豊かな心を培いましょう。

努力点

一、会員の親睦をはかり組織の拡充と運営の近代化をはかる。

二、消費者として、また一婦人として新しい生き方をみいだすことにつとめる。

三、他の団体と力を合わせ奉仕活動を通してよりよい地域づくりにつとめる。

四、新生活運動の推進

五、物を大事にし、資源の流用

六、交通安全の意識の高揚

以上の事をおしすすめて行くために本年度は特に活動の場、学習の場を各地域の中に求めたいと思います。

ゴミは、決められた日の朝に出しましょう!!

主な行事としては

生活学校、ボランティア講座、婦人学級、婦人スポーツ大会、おむつ一枚運動、施設訪問、不用品バザー、婦人大会、結婚相談など行う予定です。

婦人会は言うまでもなく、私たち婦人の学習の場、奉仕の場です。そして地域づくりの場です。五十四年度は、新しい役員を中心に加治木町婦人会をもり上げようと張りきっています。

町内のご婦人の皆さん、お友達おさそい合わせ婦人会にご加入ください。そしてあなたの力を、ご意見を、町づくりのために生かしてください。

新年度役員紹介

町婦連

会　長　西迫雅子

柁城校区

会　長　坂元広子

副会長　前田章子、溝口

錦江校区

会　長　鳥飼美智子

副会長　寺迫けい子

永原校区

会　長　内村貞子

副会長　森木和子

中野校区

未　定

町総会で表彰

町婦人会では、総会の席上次の方々を表彰しました。

○五十三年度すばらしい婦人会活動がなされ、明るい町づくりに励んだ　端山婦人会。

○永年にわたり地域の婦人たちのよき相談相手となり後輩の指導につくされた

永原婦人会　東みつ子さん

川原婦人会　宮原ミカさん

今後のご活躍を期待いたします

小学生のみなさん

たくさんの標語ありがとう

去る二月町婦連が募集したあいさつこだま運動推進の標語を五百名にのぼるたくさんの子どもさんがよせてくださいました。

ほんとうにありがとうございました。その中から次の七点を選びポスターにし、各公民館などにさしあげました。町々に明るいあいさつの声がこだましあうようにしたいものです。

○ともだちと
　ふたりいっしょにごあいさつ
　柁城小一年こじまやよい

○やってみた
　あいさつとてもよい気持
　竜門小五年　福本武信

○あいさつひとこと
　ふれあう心
　錦江小六年　萱野重美

○笑顔であいさつ
　さわやか一日
　永原小五年　浜田美保子

○あいさつひとこえ
　友だちいっぱい
　錦江小二年　水間りか

○こんにちは
　言われる前にこちらから
　永原小六年　内村光代

○ありがとう
　はずかしがらずに言える子に
　錦江小三年　米丸あつ子

竜門句会

子の作る菓子の不揃ひ桃の花　徳留　末雄

初蝶の知らぬ世界に舞ひ上る　横山　江南

火の山のすそまで白し戻り寒　林　睦山

我花圃の鉢一つわる猫の恋　中馬　静子

花えんどう遠山の霧移りつつ　鶴田　耕

末黒野となりて枝川かがやけり　井之上透山

啓蟄や巷は風邪の流行ゐて　恒吉　斗南

いのち秘め寒の卵の微動せず　松永　愛子

史跡訪ふ山路がかりや蛇の出て　加藤　白柳

パリーなる友の文読む春の宵　曽木　柳田

沖の島遠望拒む霞かな　宮脇　思川

ままごとのお碗飛ばされ春嵐　田代　俊泉

竜門句会では初心者講座の計画をしております。老若男女を問わず、無料で月二回程度、大体三ケ月位で終了の予定です。

希望の方は、錦江町二三七鶴田耕宛にハガキで申し込みください。

ハズンダ芸能大会

町老人クラブ

町老人クラブ（稲田進会長外二、〇五〇人）では、三月六日午後一時から第一回芸能大会を町福祉センターで催しました。

この日は、会場いっぱいに、町内のお年寄りを始め観客が集まり日本舞踊や詩吟、民謡など三十五種目のプログラムに、舞台で熱演する者、会場で声援を贈る者、一緒になり大にぎわいしました。

中でも望岳園の入園者が器楽合奏とダンスを踊り花を添え、最後には西反土老人クラブの手造りの馬おどりがくり出し、観客をよろこばせました。

観客の一人、おばあちゃんは「ハズンモサナー、来年は、今から練習して、わたしも舞台でおどいもサ…」と顔のシワをのばして話してくださいました。

当クラブでは、今後毎年この大会を続けて行くことにしております。

花笠音頭を披露する高城クラブのお年寄り

入賞者の西村君（右）と宇都宮さん

全国青少年健全育成作文応募で入選

青少年育成国民会議では、青少年の健全育成を図ろうと、全国から作文と標語を募集しました。

この作品の審査が二月に行われ本町柁城小学校五年生の宇都宮康子さんと、一年生のにしむらかつとし君が作文の部で入選し、このほど二人に、東町長から賞状と記念品の伝達が行われました。

これは全国から寄せられた二、〇二七点の応募作品の中から選ばれたもので、宇都宮さんは「わたしのゆめ」と題し、にしむら君は「からてのせんしゅになる」と題して応募しました。

おめでとうございます。

町文化財保護協力会が発足

会員を募集！

町内の文化財を大切に保護し、調査研究を行ない、郷土の歴史と文化を次の世代へ伝えていこうと町文化財保護協力会が結成。広く会員を呼びかけています。

発起人は、壱岐正治、岩澤光男新納教義、林敏克、松元忠富さんらが代表です。

文教の町加治木には国の指定文化財二、県指定五、町指定一〇五の多数にのぼる文化財が保護されています。

わたしたちの祖先が残してくれた、これらの貴重な文化財について理解を深め、これらを青少年の教育に生かすとともに永久に保存していく目的で会員の募集をいたしています。

申し込みは、町教育委員会、社会教育課（電話二―二一一一）

文化財めぐり 33

島津都美夫人墓 供養碑

木田・西ノ原

夫人は垂水家島津貴儁の息女で第二十四代藩主島津重年の夫人であって二十五代重豪の母堂である。夫人都美は善次郎（重豪の幼名）を生んで一日目、延享二年十一月七日死去した。善次郎は宝暦三年十二月十五日元服して久方と改め加治木五代を継いだ。しかし、父重年は後妻を迎えたが夫人は子なくして宝暦四年二月二日江戸で死去したいろいろ事情はあったが宝暦三年幕府の許可を得て善次郎を後継とした。これが二十五代藩主重豪である。重豪は安永六年十一月廟所に亀形台付の大きな供養碑を建てた。そしてこれには山本正誼撰の碑文が刻まれているが世にこれを亀墓といっている。法名は正覚院殿貞範妙雅大姉

亀形台付の大きな供養碑

時間を励行しましょう
町民みんなで時間を
大切にし会合などの
時間をまもりましょう！

おしらせ

はかりの定期検査

5月7日から9日

お宅の計量器（はかり）は正確ですか！

計量器は三年に一回定期検査を受けることになっています。

ことしがその三年目にあたり本町は次のとおり実施されます。

五月七日　午前十時～十二時
竜門小学校
五月七日　午後一時～三時
永原小学校
五月八日　午前十時～午後三時
錦江小学校
五月九日　午前十時～午後三時
町福祉センター

検査を受けないと使用はできません。ご注意を！

大工・左官賃金

一日＝七、〇〇〇円に

本町土建組合春の定期総会が、三月二十一日開かれ、大工・左官の賃金等が四月一日から次のとおり実施することに決まりました。

・町民のかたがたのご協力をお願い申しあげます。

▽大工・左官とも＝日給七、〇〇〇円

「青年海外協力隊」の隊員を募集

国際協力の一環として、アジアやアフリカなど発展途上国に対し経済開発や民生向上などのために必要な優れた技術をもつ日本の青年を派遣し、その国の国づくりに貢献しようとする「青年海外協力隊」の隊員を募集しています。

▽派遣先
アジア、アフリカ、中近東、中南米、オセアニア

▽派遣職種
農林水産業、土木建設業、交通通信、鉱工業、教育訓練、保健衛生など

▽派遣期間
二年間

▽応募資格
性別は問いませんが、現地の厳しい生活に耐えられる心身ともに健康な人。
年齢は、昭和五十四年五月三十一日現在で、二十歳以上、原則として三十五歳未満の人。

独身者を原則としますが既婚者でも二年の派遣期間、家族を日本に残して赴任できる人。

▽願書提出期間
昭和五十四年四月十五日から五月三十一日まで。

願書の請求や詳しいことは、鹿児島市山下町一四―五〇「県庁広報課渉外係」（電話〇九九二―二六―五四四六）へ問い合わせください。

うぶ声

二月二十一日から三月二十日受付分

出生者	保護者	部落
小城雅代	守	西江口団地
尾松洋高	俊廣	空港団地
山下智弘	純一	西江口団地
城一也	英治	西ノ原
黒岩慎吾	忠夫	春日団地
津崎航	四男	東吉原団地
津曲慶彦	昭博	下新道
池田聡	敬弘	岩原東
砂坂早紀	清美	東吉原団地
日高利恵	輝利	高井田
米森裕美	輝男	岩原西
津曲あさみ	和規	萩原
土橋育代	兼義	浜村
坂口明子	秀昭	里ノ下
白浜啓司郎	賢次	蔵王団地
池田紀昭	哲	高井田
榎谷剛	孝一	反土黒川
鎌田純子	雅和	下浜
佐伯京子	勉	竹下
末吉幸江	一久	空港団地
岩沢泰生	浩二	柳田
井辺裕和	善和	蔵王団地
郡山大碁	昭伍	須崎
岩崎いづみ	武光	豊町
石原さゆり	悟	西浦西
浜田大輔	一雄	吉原
平田友一	博	弥勒
水流添記爵	勝己	新中
郡山孝博	伸博	中塩入
中山敬介	正行	菖蒲谷下
楠原	西山タマ子（鉄夫47）	
三万円	柳田　三角　光夫（長野政雄78）	
五万円	日木山黒川撰　正敦（タケ88）	

＝町育英奨学資金へ＝

二万円	萩原　木佐木ミノ（正一郎88）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円	上木田　篠崎　利治（与二84）
五千円	空港団地平井　渉（久子51）

篤志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

五万二千五百九十六円
蒲生田通り経友会

＝町育英奨学資金へ＝

五千円
柁城校区婦人会会長　坂元広子

▽…三月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円
上木田　篠崎　利治（与二84）
三万円
岩原東　中島　信一（愛79）
五万円
萩原　木佐木ミノ（正一郎88）
五千円

今月は軽自動車税（全期）の納期です。